

筑後川水系 赤谷川
(河川改修事業)

1. 事業概要

1) 流域の概要

筑後川水系赤谷川は、筑後川本川右岸山地（朝倉市杷木赤谷）に源を発し、山地部を南流しながら、杷木真竹にて右支川乙石川、杷木大山で左支川大山川と合流し、筑後川に注ぐ、幹川流路延長約 9.4km、流域面積約 19.9km²の一級河川である。

流域の土地利用状況については、そのほとんどが山地部を成しており、丘陵地では果樹園や水田が広がっている。また筑後川合流点付近では、主要な幹線道路である一般国道 386 号が走っており、交通の便が良いことから、住宅地としても利用されている。

2) 事業の必要性

赤谷川では、平成 29 年 7 月九州北部豪雨により、洪水とともに大量の土砂や流木が流下してきたことで甚大な土砂・洪水氾濫被害が発生した。これを受け、頼母橋から上流区間は、国の権限代行により、整備が完了した。しかし、未整備区間の筑後川との合流部では、赤谷川が筑後川の上流側を向いていること、頼母橋の基準径間長が不足していることにより、水位上昇や土砂堆積が発生しており、治水安全度が確保されていない状況である。このことから、浸水被害の防止を図るため、橋梁の架替を含め赤谷川下流端までの河川改修が必要である。

3) 事業により期待される効果

○治水安全度の向上

計画規模（W=1/50）の降雨に対し、浸水被害の防止を図る。

2. 現在の状況

治水安全度：1/50 未満（頼母橋（0k200）より上流は国の権限代行により整備済み）

公共施設：国道 386 号（緊急輸送道路（一次））

災害履歴：平成 24 年 7 月、平成 29 年 7 月

3. 計画内容

箇所名：朝倉市杷木林田

整備延長：L=0.2 km（筑後川合流部～頼母橋）

計画規模：1/50

計画流量：330m³/s（筑後川合流地点）

整備内容：河道改修、橋梁架替、樋門改築等

全体事業費：C=18 億円

事業着手年度：令和 6 年度

完成目標年度：令和 17 年度

費用便益比：1.4

4. その他特記事項

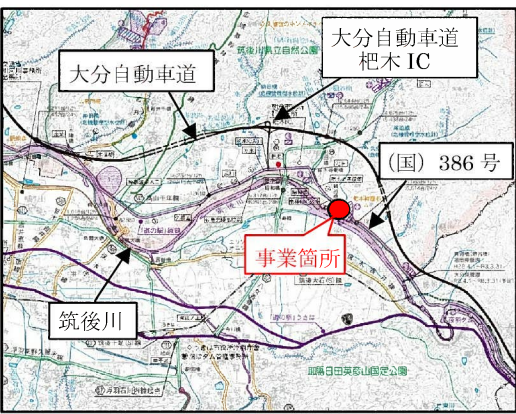
・事業に対する要望・協力体制

要望書：地元住民からの要望（平成 29 年 10 月、平成 30 年 3 月）
朝倉市からの要望（平成 29 年 10 月、平成 30 年 3 月）

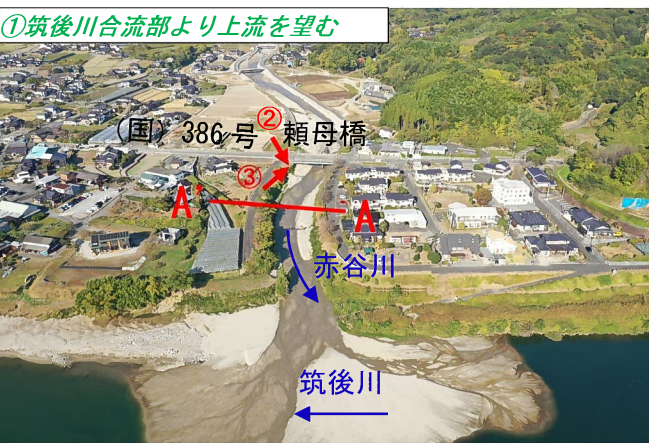
【位置図】



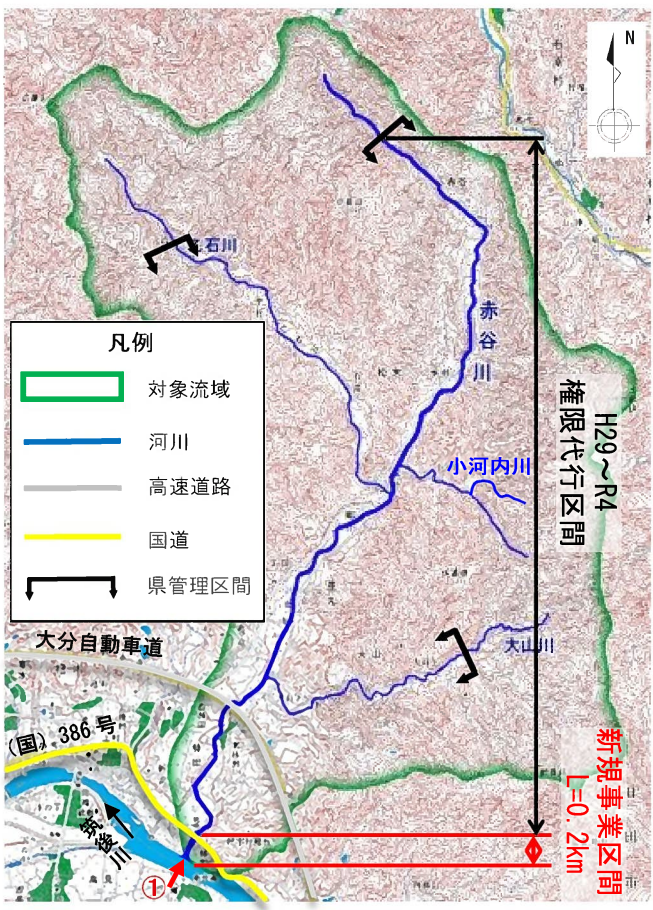
【管内図】



【現況写真】



【流域図】



【計画標準横断面図（A-A'）】

